

# 岩手県立中央病院及び附属地域診療センターの経営状況について

## 目 次

1	盛岡保健医療圏内県立病院群の一体的運営の状況	1
(1)	県立病院群の機能分担・連携	1
(2)	県立病院群の一体的・効率的運営に向けた取組状況	1
(3)	中央病院からの診療応援状況	1
2	盛岡保健医療圏内県立病院群の医療資源等の状況	2
(1)	診療科及び医師数の状況	2
(2)	基本的機能等	3
(3)	部門別常勤職員数	3
3	盛岡保健医療圏内県立病院群の患者数	4
(1)	診療科別1日平均患者数	4
	入院	4
	外来	5
(2)	1日平均入院患者数の推移	6
	うち新入院患者数	6
(3)	病床利用率と平均在院日数の推移	7
(4)	1日平均外来患者数の推移	8
	うち新外来患者数	8
(5)	紹介率・逆紹介率の推移	9
4	盛岡保健医療圏内県立病院群の経営収支の推移	10
5	盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況	12
6	盛岡保健医療圏内救急患者数状況	13
(1)	救急患者数状況	13
(2)	救急車搬送状況	13
7	3施設の事業運営方針等	15
(1)	中央病院	15
(2)	沼宮内地域診療センター	19
(3)	紫波地域診療センター	20
8	令和6年度岩手県立病院等事業会計決算概要	21

# 1 盛岡保健医療圏内県立病院群の一体的運営の状況

## (1) 県立病院群の機能分担・連携

### ◇ 中央病院

急性期高機能センター病院として、盛岡医療圏はもとより岩手県全域を対象とした、先進・高度・特殊医療機能を提供しているほか、基幹型臨床研修指定病院として、教育・研修機能・医療情報機能を併せ持ち、加えて、地域の病院や診療所に対して診療応援を行うなど県立病院のセンター病院としての機能を担う。

### ◇ 中央病院附属紫波地域診療センター

センター病院(中央病院)等の支援を得ながら、紫波地域のプライマリーケア(初期医療)や慢性期医療を担う。

### ◇ 中央病院附属沼宮内地域診療センター

センター病院(中央病院)等の支援を得ながら、沼宮内地域のプライマリーケア(初期医療)や慢性期医療を担う。

## (2) 県立病院群の一体的・効率的運営に向けた取り組み状況

圏域の業務(材料等の共同調達、検体検査業務、滅菌業務、外部業務、経理、委託等)をセンター病院(中央病院)に集約し、効率的な運営を図っている。

また、医師や他の職種の診療センター等への診療応援・業務応援を安定的に行っている。

※ 以下の表及びグラフについては、「中央病院附属紫波地域診療センター」を「紫波センター」と表示する。

※ 以下の表及びグラフについては、「中央病院附属沼宮内地域診療センター」を「沼宮内センター」と表示する。

## (3) 中央病院からの診療応援状況

(単位:件) 【参考】 (単位:件)

区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度	区分	R7.11月累計
県立病院	3,262	3,069	3,399	3,892	4,566	県立病院	2,648
うち紫波センター	24	24	24	24	22	うち紫波センター	15
うち沼宮内センター	225	247	270	262	281	うち沼宮内センター	162
うち長期応援	2,036	1,608	2,190	2,806	3,224	うち長期応援	1,861
市町村立病院等	625	639	576	645	628	市町村立病院等	384
合計	3,887	3,708	3,975	4,537	5,194	合計	3,032

## 2 盛岡保健医療圏内県立病院群の医療資源等の状況

### (1) 診療科及び医師数の状況（令和7年11月1日現在）（単位：人）

区分	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	計
内科		1	1	2
血液内科	5			5
総合診療科	3			3
糖尿病・内分泌内科	4			4
腎臓・リウマチ科	8			8
精神科	2			2
脳神経内科	5			5
呼吸器内科	4			4
消化器内科	12			12
循環器内科	12			12
小児科	8			8
外科	1	1		2
乳腺・内分泌外科	4			4
消化器外科	11			11
整形外科	7			7
形成外科	3			3
脳神経外科	5			5
呼吸器外科	5			5
心臓血管外科	5			5
小児外科	2			2
皮膚科	4			4
泌尿器科	5			5
産婦人科	7			7
眼科	2			2
耳鼻咽喉科	3			3
リハビリ科	2			2
放射線科	6			6
歯科口腔外科	3			3
ペインクリニック科	1			1
腫瘍内科	1			1
麻酔科	17			17
ICU科	2			2
臨床検査科	1			1
病理診断科	4			4
救急医療科	1			1
小計	165	2	1	168
2年次研修医	11			11
1年次研修医	17			17
小計	28	0	0	28
合計	193	2	1	196

※現員報告から(兼務発令・  
他病院への研修等は除く)

(2) 基本的機能等(令和7年11月1日現在)

区分	施設 類型	病床数(床)			救急医療			特殊診療機能・器械						
		一般	結核	計	救急 告示	二次 輪番	小児 輪番	がん放 射線	理学	作業	人工 透析	MRI	CT	PET CT
中央病院	センター	685		685	○	○	○	○	○	○	○	○	高精度	○
紫波センター	診療所	0		0									○	
沼宮内センター	診療所	0		0									○	
盛岡医療圏		685	0	685										

主な医療施設基準、認定、専門外来等

中央病院	救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、地域災害拠点病院、臨床研修指定病院、臨床研修評価機能認定病院、日本医療機能評価機構認定病院、がん看護専門外来・スキンケア専門外来・糖尿病療養支援外来
紫波センター	隣接する介護老人福祉施設との連携 生活習慣病管理料(Ⅰ)・(Ⅱ)、検体検査管理加算1
沼宮内センター	近隣の介護老人福祉施設との連携 生活習慣病管理料(Ⅰ)・(Ⅱ)、検体検査管理加算1、遠隔画像診断

(3) 部門別常勤職員数(令和7年11月1日)

正規職員

(単位:人)

会計年度任用職員

(単位:人)

区分	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計
医師	165	2	1	168
薬剤部門	34			34
放射線部門	39			39
検査部門	35			35
看護部門	594		1	595
歯科衛生士	3			3
臨床工学技士	18			18
視能訓練士	4			4
理学療法士	24			24
作業療法士	8			8
言語療法士	9			9
事務部門	36	1		37
診療情報管理士	1			1
医療社会事業士	7			7
栄養管理部門	23			23
公認心理師	3			3
運転技士				0
合計	1,003	3	2	1,008

中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計
28			28
21		1	22
5	1	1	7
13	1	2	16
155	3	2	160
1			1
			0
			0
1			1
			0
			0
100	2	2	104
1			1
1			1
19			19
			0
1		1	2
346	7	9	362

### 3 盛岡保健医療圏内県立病院群の患者数

#### (1) 診療科別1日平均患者数(令和6年度)

(単位:人)

区分	入院(R06年度)			
	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	計
内科				0
血液内科	31			31
総合診療科	5			5
糖尿病・内分泌内科	11			11
腎臓・リウマチ科	31			31
精神科				0
脳神経内科	35			35
呼吸器内科	39			39
消化器内科	51			51
循環器内科	54			54
小児科	14			14
外科				0
乳腺・内分泌外科	10			10
消化器外科	45			45
整形外科	49			49
形成外科	3			3
脳神経外科	25			25
呼吸器外科	11			11
心臓血管外科	20			20
小児外科	1			1
皮膚科	6			6
泌尿器科	19			19
産婦人科	28			28
眼科	4			4
耳鼻咽喉科	8			8
放射線科				0
歯科口腔外科	2			2
ペインクリニック科	0			0
腫瘍内科	3			3
救急センター	2			2
				0
計	507	0	0	507

(単位:人)

【参考】入院(R7.11月累計)				
中央病院	紫波センター	沼宮内センター	計	
			0	
33			33	
9			9	
10			10	
33			33	
			0	
26			26	
38			38	
56			56	
48			48	
15			15	
			0	
14			14	
52			52	
54			54	
2			2	
32			32	
13			13	
19			19	
1			1	
8			8	
20			20	
25			25	
4			4	
7			7	
			0	
2			2	
			0	
3			3	
2			2	
			0	
計	526	0	0	526

(単位:人)

区分	外来(R06年度)			計
	中央 病院	紫波セ ンター	沼宮内 センター	
内 科		25	36	61
血 液 内 科	48			48
総 合 診 療 科	4			4
糖尿病・内分泌内科	34			34
腎臓・リウマチ科	67			67
精 神 科	6			6
脳 神 経 内 科	23			23
呼 吸 器 内 科	46			46
消 化 器 内 科	83			83
循 環 器 内 科	67			67
小 児 科	33			33
外 科		4	8	12
乳腺・内分泌外科	51			51
消 化 器 外 科	49			49
整 形 外 科	39		1	40
形 成 外 科	19			19
脳 神 経 外 科	16			16
呼 吸 器 外 科	19			19
心臓血管外科	19			19
小 児 外 科	3			3
皮 膚 科	41			41
泌 尿 器 科	41			41
産 婦 人 科	63			63
眼 科	20			20
耳 鼻 咽 喉 科	25			25
放 射 線 科	146			146
歯科口腔外科	28			28
ペインクリニック科	9			9
腫 瘍 内 科	18			18
救急センター	24			24
				0
計	1,041	29	45	1,115

(単位:人)

【参考】 外来(R7.11月累計)			
中央 病院	紫波セ ンター	沼宮内 セン ター	計
	22	32	54
46			46
3			3
34			34
69			69
5			5
21			21
47			47
84			84
66			66
28			28
	3	8	11
51			51
49			49
39		1	40
15			15
14			14
21			21
19			19
3			3
38			38
44			44
66			66
20			20
24			24
150			150
24			24
10			10
19			19
25			25
			0
1,034	25	41	1,100

(2) 1日平均入院患者数の推移

(単位:人)

【参考】

区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
中央病院	516	535	525	507	507
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	516	535	525	507	507
県立病院全体	2,985	2,984	2,935	2,905	2,994

区分	R7.11月累計
中央病院	526
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	526
県立病院全体	2,995

うち新入院患者数

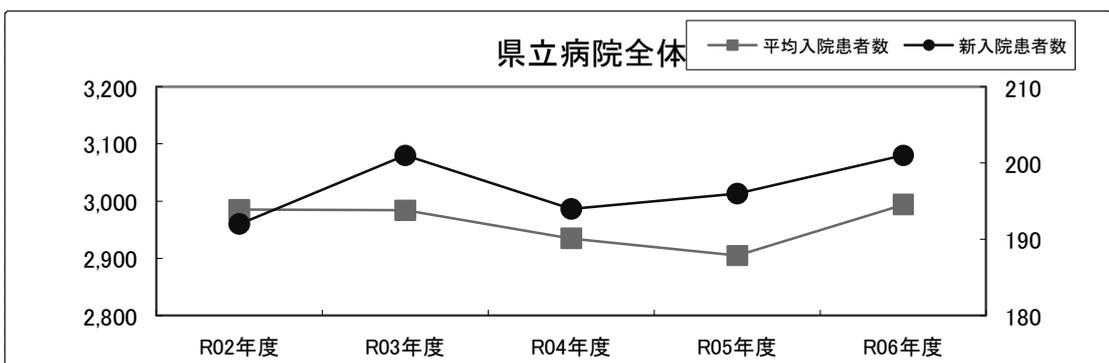
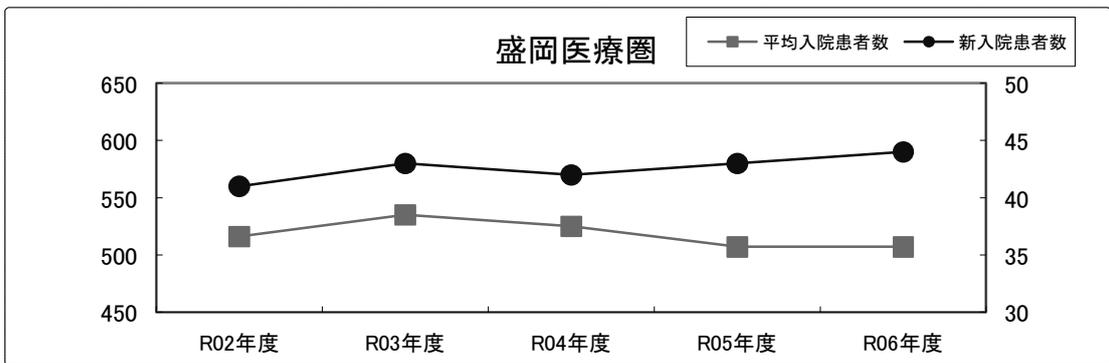
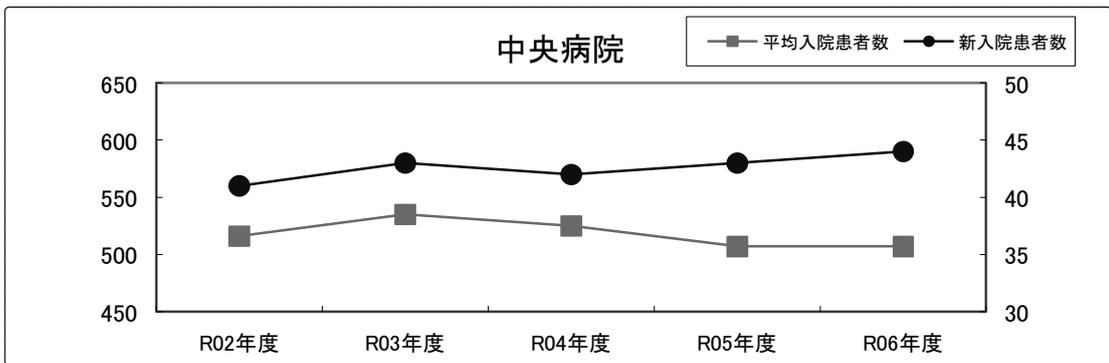
(単位:人)

【参考】

区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
中央病院	41	43	42	43	44
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	41	43	42	43	44
県立病院全体	192	201	194	196	201

区分	R7.11月累計
中央病院	44
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	44
県立病院全体	201

(グラフ単位:人)



### (3) 病床利用率と平均在院日数の推移

#### 病床利用率（一般）の推移

(単位:人)

【参考】

区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
中央病院	75.4	77.9	76.6	74.0	73.9
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	75.4	77.9	76.6	74.0	73.9
県立病院全体	66.8	67.1	66.3	66.4	70.9

区分	R7.11月累計
中央病院	76.8
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	76.8
県立病院全体	72.3

※ 数値は実稼動病床数にて算出

#### 平均在院日数の推移

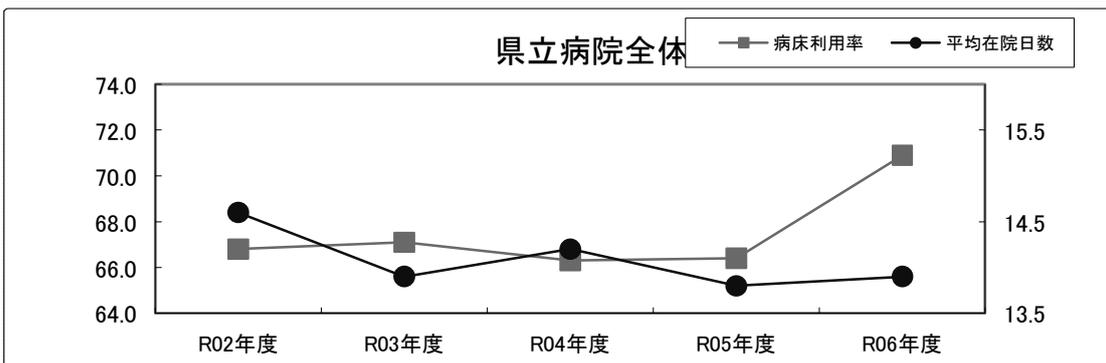
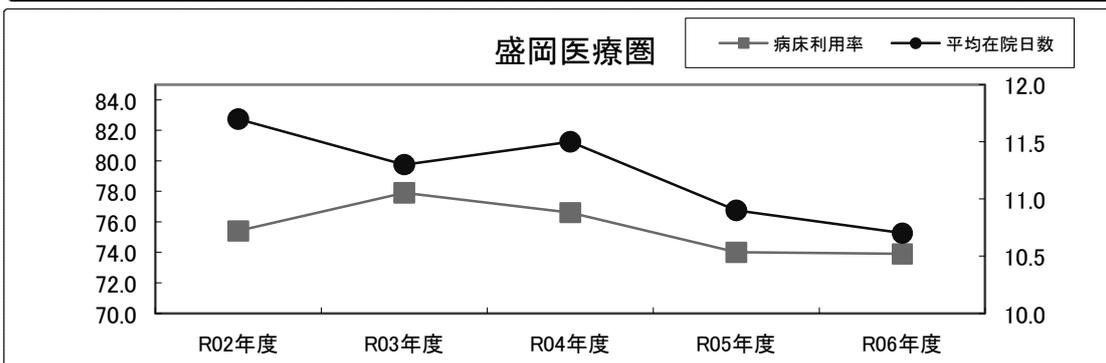
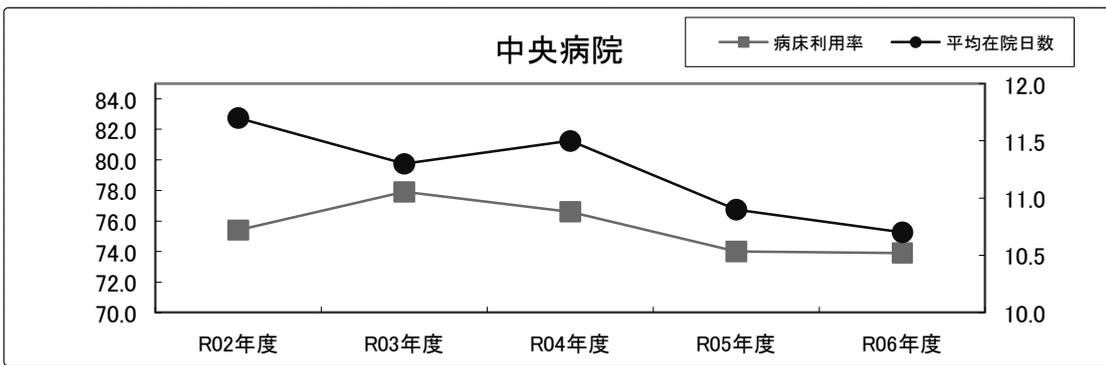
(単位:人)

【参考】

区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
中央病院	11.7	11.3	11.5	10.9	10.7
紫波センター	-	-	-	-	-
沼宮内センター	-	-	-	-	-
盛岡医療圏	11.7	11.3	11.5	10.9	10.7
県立病院全体	14.6	13.9	14.2	13.8	13.9

区分	R7.11月累計
中央病院	10.9
紫波センター	-
沼宮内センター	-
盛岡医療圏	10.9
県立病院全体	13.8

(グラフ単位:病床利用率-%、平均在院日数-日)



(4) 1日平均外来患者数の推移 (単位:人)

区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
中央病院	1,017	1,057	1,062	1,038	1,041
紫波センター	33	31	30	30	29
沼宮内センター	43	43	46	43	42
盛岡医療圏	1,093	1,131	1,138	1,111	1,112
県立病院全体	6,857	7,027	7,073	6,953	6,827

【参考】

区分	R7.11月累計
中央病院	1,034
紫波センター	25
沼宮内センター	41
盛岡医療圏	1,100
県立病院全体	6,726

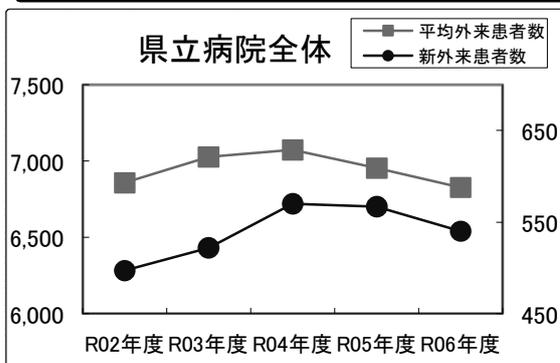
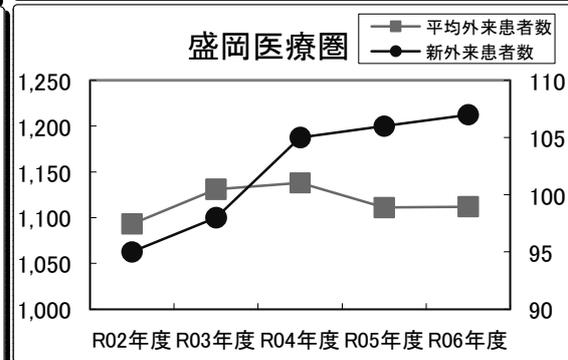
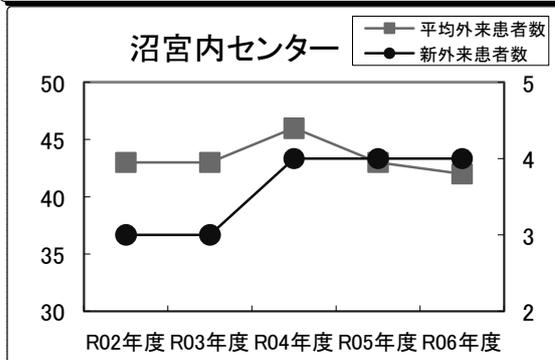
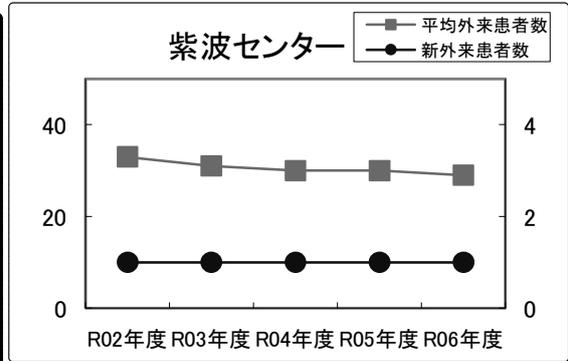
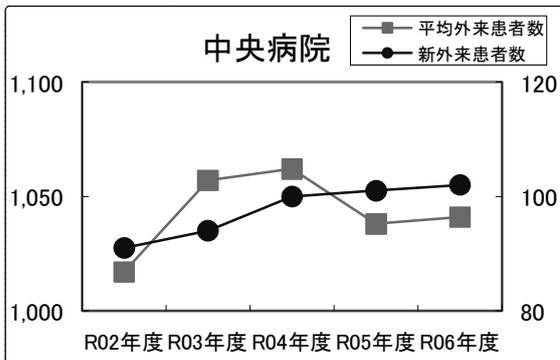
うち新外来患者数 (単位:人)

区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
中央病院	91	94	100	101	102
紫波センター	1	1	1	1	1
沼宮内センター	3	3	4	4	4
盛岡医療圏	95	98	105	106	107
県立病院全体	497	522	570	567	540

【参考】

区分	R7.11月累計
中央病院	94
紫波センター	1
沼宮内センター	4
盛岡医療圏	99
県立病院全体	507

(グラフ単位:人)



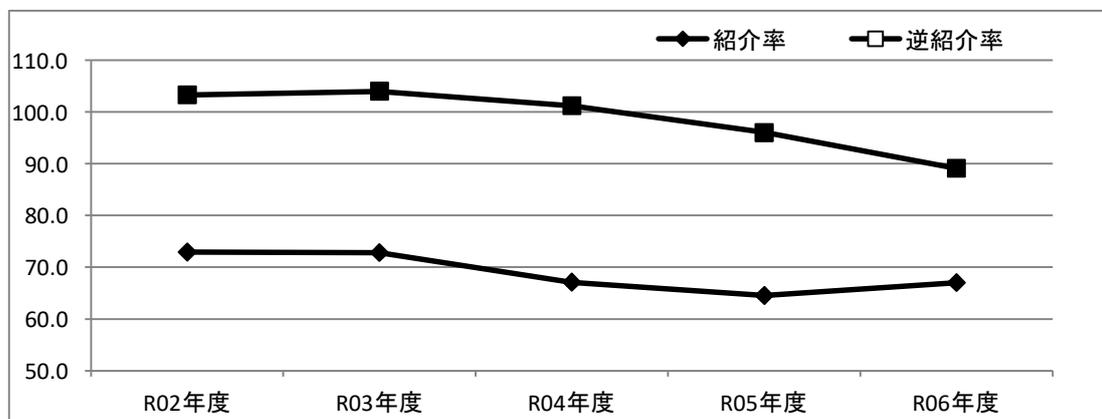
(5) 紹介率・逆紹介率の推移

紹介率・逆紹介率の推移（中央病院）（単位：％）

区分	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
紹介率	72.9	72.8	67.1	64.5	67.0
逆紹介率	103.3	104.0	101.2	96.0	89.1

【参考】

区分	R7.11月累計
紹介率	73.1
逆紹介率	97.3



#### 4 盛岡保健医療圏内県立病院群の経営収支の推移

(単位:千円)

区 分	令和06年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	25,981,898	2,519,010	26,915,380	△ 933,483	19,628,959
紫波センター	131,249	79,973	151,871	△ 20,622	△ 3,845,981
沼宮内センター	242,935	90,397	272,470	△ 29,535	△ 1,324,564
盛岡医療圏	26,356,082	2,689,380	27,339,721	△ 983,640	14,458,414
県立病院全体	115,012,616	16,903,955	122,312,695	△ 7,300,079	△ 50,121,982

(単位:千円)

区 分	令和05年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	26,281,827	2,823,093	26,246,097	35,730	20,562,442
紫波センター	137,507	80,402	171,161	△ 33,654	△ 3,825,359
沼宮内センター	260,103	106,233	279,059	△ 18,956	△ 1,295,029
盛岡医療圏	26,679,437	3,009,728	26,696,317	△ 16,880	15,442,054
県立病院全体	116,739,988	18,592,184	120,277,103	△ 3,537,114	△ 42,821,903

(単位:千円)

区 分	令和04年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	26,741,582	2,606,521	25,801,224	940,357	20,526,712
紫波センター	150,292	88,445	164,997	△ 14,705	△ 3,791,705
沼宮内センター	251,874	88,119	284,788	△ 32,914	△ 1,276,073
盛岡医療圏	27,143,748	2,783,085	26,251,009	892,738	15,458,934
県立病院全体	119,922,180	17,032,383	117,584,244	2,337,936	△ 39,284,789

(単位:千円)

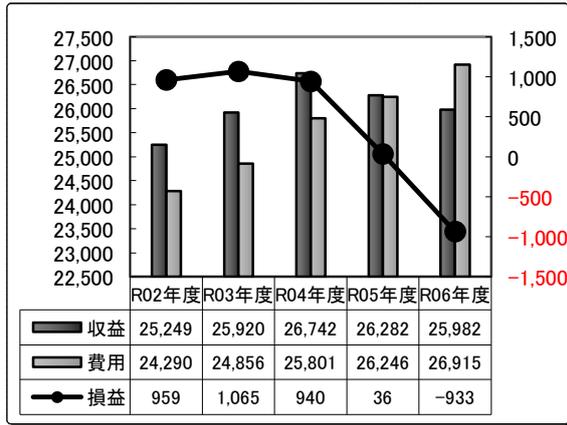
区 分	令和03年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	25,920,235	2,254,118	24,855,597	1,064,638	19,586,355
紫波センター	131,622	71,804	158,108	△ 26,486	△ 3,777,000
沼宮内センター	254,155	72,189	296,991	△ 42,836	△ 1,243,159
盛岡医療圏	26,306,012	2,398,111	25,310,696	995,316	14,566,196
県立病院全体	117,667,133	15,659,052	113,352,128	4,315,005	△ 41,622,725

(単位:千円)

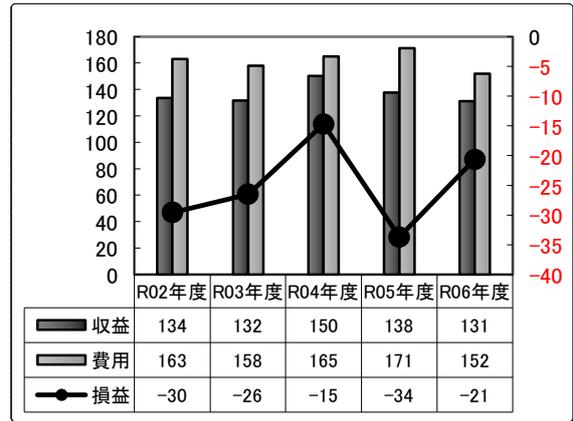
区 分	令和02年度				
	収益	うち繰入金	費用	損益	年度末累積損益
中央病院	25,249,490	2,242,229	24,290,476	959,014	18,521,717
紫波センター	133,667	73,952	163,211	△ 29,544	△ 3,750,514
沼宮内センター	263,336	82,057	280,953	△ 17,617	△ 1,200,323
盛岡医療圏	25,646,493	2,398,238	24,734,640	911,853	13,570,880
県立病院全体	114,528,002	15,636,462	112,036,751	2,491,251	△ 45,937,730

(グラフ単位:百万円)

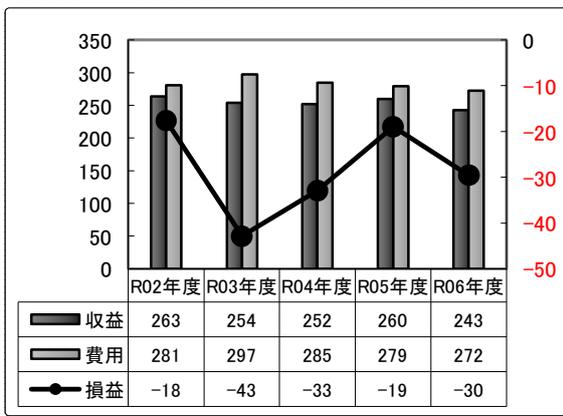
中央病院



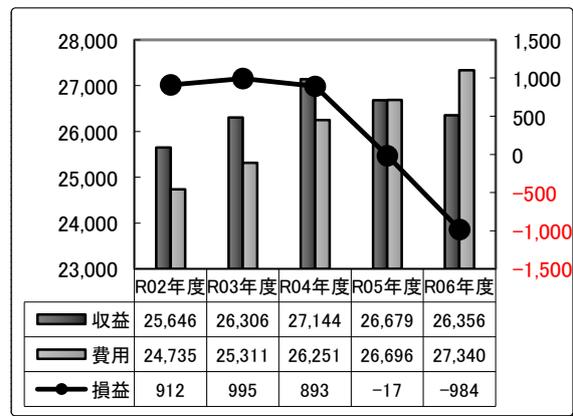
紫波センター



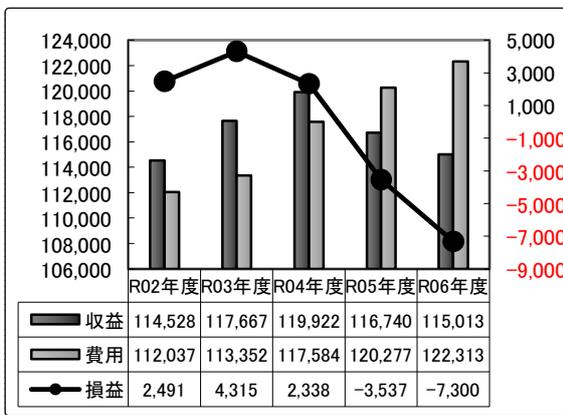
沼宮内センター



盛岡医療圏



県立病院全体

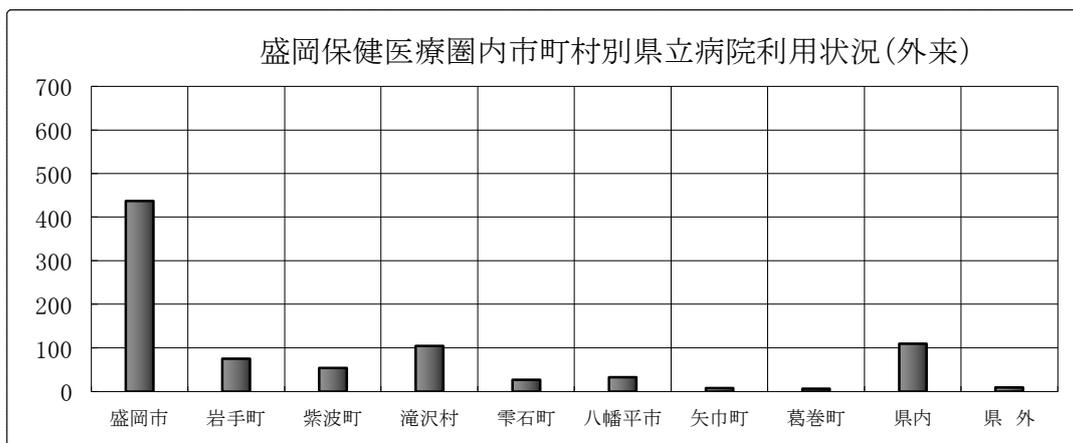
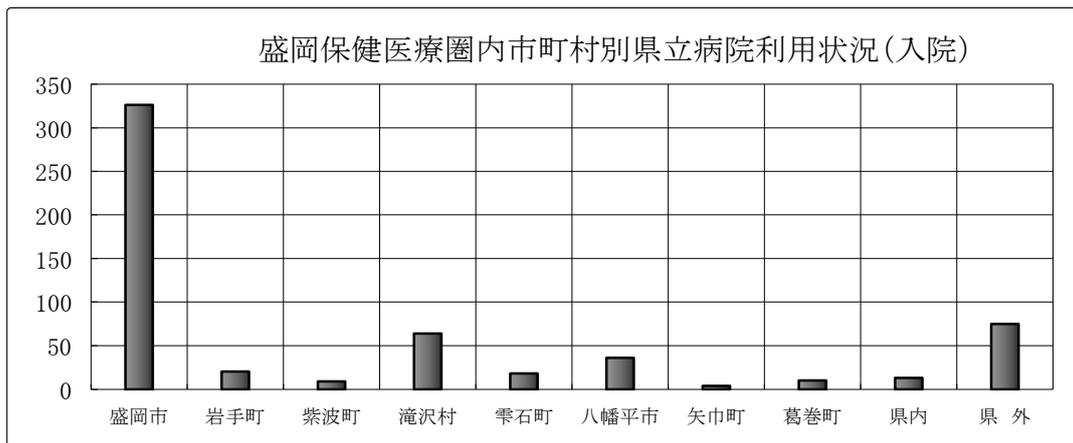


## 5 盛岡保健医療圏内市町村別県立病院利用状況

令和7年11月4日現在患者数

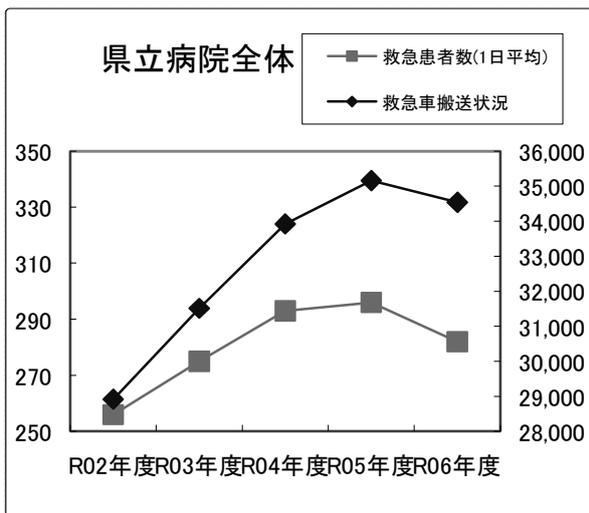
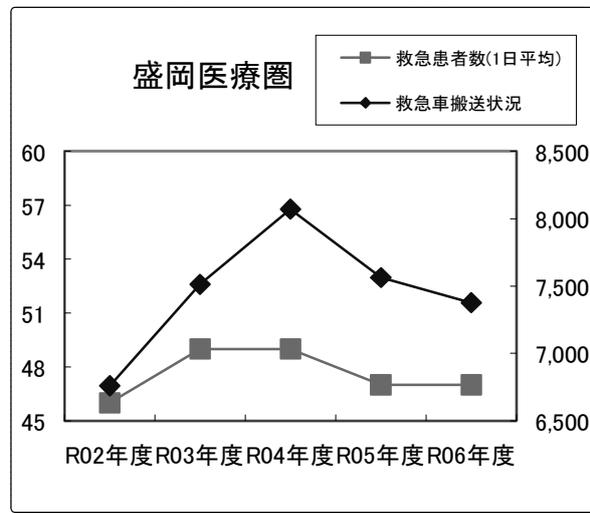
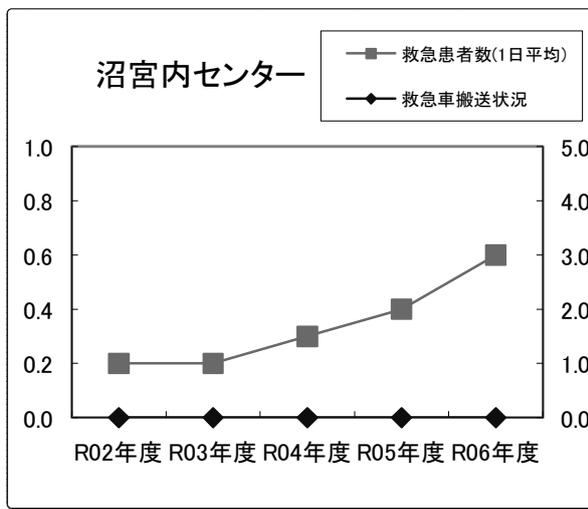
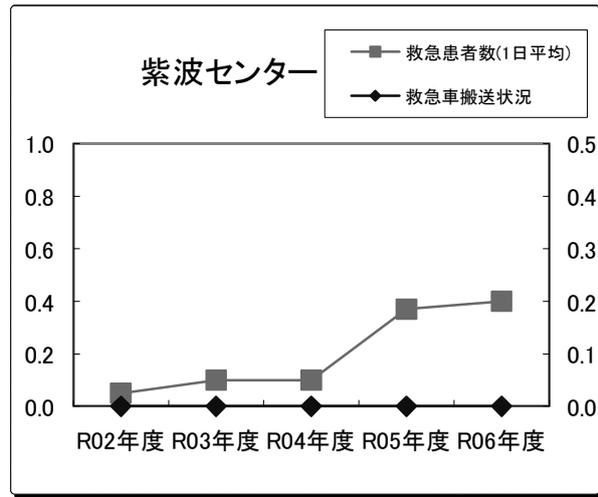
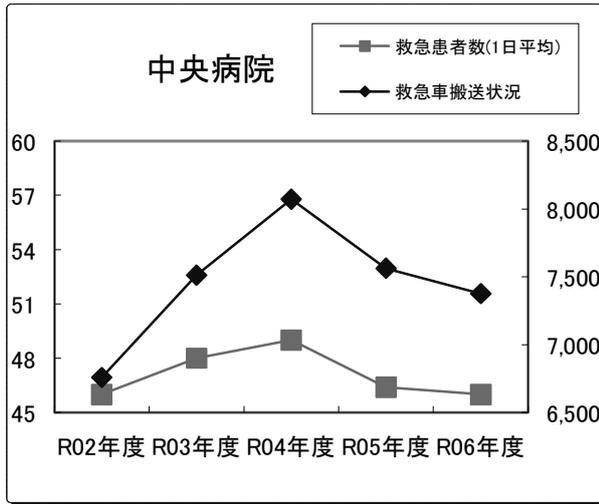
(単位:人)

区分	入院				外来				人口千人当たり患者数	
	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計	中央病院	紫波センター	沼宮内センター	合計	入院	外来
盛岡市	326			326	434	3		437	35	31
岩手町	20			20	18		57	75	56	141
紫波町	9			9	11	43		54	9	34
滝沢市	64			64	103		1	104	36	39
雫石町	18			18	27			27	38	38
八幡平市	36			36	33			33	49	30
矢巾町	4			4	7	1		8	4	6
葛巻町	10			10	5		1	6	62	25
県内	13			13	106		4	110	1	3
県外	75			75	9			9	0	0
合計	575	0	0	575	753	47	63	863		





(グラフ単位:人)



key wordは、「トリプル Winner！」



## 最重点取組事項

令和7年度

「職員がやりがいを実感」しながら「質の高い高度先進医療」を提供し続ける  
「健全経営で持続可能」な病院作り

### 1 改善取組の継続による経営基盤の強化

- (1) 経営改善プロジェクトの継続
- (2) 経営改善推進委員会の定期開催の継続
- (3) 医療局本庁との連携強化

### 2 継続的な医療の質改善を目的としたQuality Controlの推進

- (1) 5年毎の病院機能評価受審への取り組みが継続される仕組みづくり
- (2) QC活動の中核となる人材育成
- (3) QCを推進するワーキンググループ活動を奨励

### 3 医療DXの推進による効率的かつ質の高い業務体制づくり

- (1) 医療DXに特化したプロジェクトの発足
- (2) 多職種チーム会議等におけるチャット利用の試行実施
- (3) グループラインを用いた伝達手法の拡大
- (4) 地域連携システムの導入検討
- (5) 電子処方箋の利用拡大に向けた取り組み

### 4 職員全員が主体的に参加するボトムアップ型病院運営の推進

- (1) 院内会議の機能と参加者の見直し

現行			見直し後			
通番	名称	最終決定	通番	名称	最終決定	備考
1	三者ミーティング*		1	運営会議	●	
2	幹部会議	●	2	管理会議		幹部会議と管理会議を統合
3	管理会議		3	診療部会議		診療科長中心（診療部単独）
4	医師幹部ミーティング*		4	医師幹部ミーティング*		変更なし
5	多職種ミーティング*					経営改善推進委員会に統合
6	三役ミーティング*		5	三役ミーティング*		変更なし

※1：名称は仮であること  
※2：運営会議の参加者は要検討

- (2) 各種委員会のあり方見直し

### 5 職場ハラスメントから職員を守るための体制強化

- (1) 院内研修会の開催等による継続的な啓発活動の推進
- (2) 被害者側に立った対応手順の整理

### 6 ロボット手術の導入と運用の安定化

- (1) 「高難度新規医療技術評価委員会」による導入機種の選定
- (2) 導入機種の選定後、「評価委員会」を「運営委員会」に改編し、手術ロボット使用による手技及び運用方法を協議・調整
- (3) 導入病院の視察又は院内研修等の開催

**令和7年度事業運営方針**  
(赤字は追加・変更点)

1 良質な医療の提供	
(1)継続的な医療の質改善を目的としたQuality Controlの推進	最重点
● 5年毎の病院機能評価受審への取り組みが継続される仕組みづくり	最重点
● QC活動の中核となる人材育成	最重点
● QCを推進するワーキンググループ活動を奨励	最重点
● クリニカルパスを活用した医療の質の向上 ・ DPC入院期間Ⅱを意識したパスの見直し	
● インフォームドコンセントの充実(患者参加型医療の提供)	
(2)ロボット手術の導入と運用の安定化	最重点
● 「高精度新規医療技術評価委員会」による導入機種の選定	最重点
● 導入機種の選定後、「評価委員会」を「運営委員会」に改編し、手術ロボット使用による手技及び運用方法等を協議・調整	最重点
● 導入病院の視察又は院内研修等の開催	最重点
(3)多職種チーム医療の推進	
● 最大の成果を出すためのチーム活動	
(4)患者・家族に寄り添った医療の提供	
● 意思決定支援のシステム構築	
● 臨床倫理カンファランス推進	
● 身体拘束最小化の推進	
● ACPの推進	
● 医療メディエーターにおける院内活動の確立及び活躍推進	
(5)安全・安心な医療の提供	
● 医療安全対策の推進・強化 ・ ポリファーマシー対策の推進(薬剤科でのパターン分析)	
● 感染管理対策の強化 ・ 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取り組み	
● 臨床研究・治験支援体制整備	
(6)地域連携の強化による高度急性期病院としての機能維持	
● ICT活用による関係機関との連携強化と業務の効率化 ・ オンラインで可能な業務の拡大と効率的運用の推進	
● 病・病連携の推進 ・ 入院患者の適切なタイミングでの退院・転院戦略	
● 病・診連携の推進、医科・歯科連携の推進 ・ 紹介からの新入院患者確保への戦略 ・ 再来患者数の適正化	
● 急性期病院としての地域包括ケアシステム参画 ・ 介護機関との情報交換強化	
● 地域住民の自己健康管理意識促進	
● 病院ホームページ等の活用による情報発信の強化	
2 次世代医療人の育成	
(1)臨床研修医、専攻医の育成システムの確立	
● 臨床研修医の確保及び専攻医獲得戦略の検討 ・ フルマッチを目指したリクルート活動の推進 ・ 専門分野に専念し十分な専門性熟達を得られる体制整備	

**令和7年度事業運営方針**  
(赤字は追加・変更点)

<b>(2)全職域における計画的な人材育成推進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各職域のキャリアデザインによる専門資格職員の計画的育成と支援</li> <li>● ベテラン医師のセカンドキャリア形成支援</li> <li>● BLSなど全職員に対する教育の強化</li> <li>● <b>職員全体の知識・スキルの向上支援</b></li> </ul>	
<b>3 地域医療への貢献</b>	
<b>(1)地域における診療体制の確保</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 県立病院間、へき地診療所等への診療応援及び医師派遣の継続</li> </ul>	
<b>(2)診療機器の有効利用促進</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 画像提供、遠隔病理、機器共同利用の促進</li> </ul>	
<b>(3)地域の医療従事者等に対する研修の実施</b>	
<b>4 救急医療の充実</b>	
<b>(1)救命救急センターの体制及び機能の強化</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 救急医療科の組織体制強化とER病棟の運用確立</li> <li>● 機能評価(高度・専門機能評価)の更新受審の<b>検討</b></li> </ul>	
<b>(2)救急科と総合診療科との連携強化による救急体制の最適化</b>	
<b>(3)救急医療に関する教育活動と専門医の確保・育成</b>	
<b>5 災害医療の体制整備</b>	
<b>(1)様々な災害を想定した医療体制の構築と強化</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自然災害、CBRNE災害、火災、サイバー攻撃等への対応準備</li> </ul>	
<b>(2)BCP(事業継続計画)を活用した取り組み</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記災害を想定した災害訓練等の実施</li> </ul>	
<b>(3)DMATによる災害医療支援体制の確保と後継者育成</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● DMAT隊員の計画的育成とチーム機能維持に係る研修会への参加支援</li> </ul>	
<b>6 健全で効率的な病院運営</b>	
<b>(1)改善取組の継続による経営基盤の強化</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>経営改善プロジェクトの継続</b></li> <li>● <b>経営改善推進委員会の定期開催の継続</b></li> <li>● <b>医療局本庁との連携強化</b></li> </ul>	<b>最重点</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ベンチマーク比較による<b>取り組み強化</b></li> <li>・ DPC係数向上に向けた分析と分析結果のフィードバック</li> <li>・ 患者動向を見据えた診療体制、病床の戦略的見直し</li> <li>・ 診療報酬の算定漏れ防止、高加算病床の有効活用、パスによる標準化</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新規施設基準の早期取得<b>及び適切な施設基準の届出に向けた取り組みの促進</b></li> <li>● <b>令和8年度診療報酬改定に向けた情報収集と情報発信</b></li> <li>● 資産の有効活用等による収益の確保</li> <li>・ 不用品の廃棄推進による<b>敷地内スペースの創出及び活用見直し</b></li> <li>● <b>コスト削減の取り組み強化</b></li> </ul>	
<b>(2)医療DXの推進による効率的かつ質の高い業務体制づくり</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>医療DXに特化したプロジェクトの発足</b></li> <li>● <b>多職種チーム会議等におけるチャット利用の試行実施</b></li> <li>● <b>グループラインを用いた伝達手法の拡大</b></li> <li>● <b>地域連携システムの導入検討</b></li> <li>● <b>電子処方箋の利用拡大に向けた取り組み</b></li> <li>● <b>各種医療情報システムの効率的活用方法の検討</b></li> <li>● <b>オンライン診療の拡大</b></li> </ul>	<b>最重点</b>

**令和7年度事業運営方針**  
(赤字は追加・変更点)

7 魅力ある職場環境整備	
(1) 職場ハラスメントから職員を守るための体制強化	最重点
● 院内研修会の開催等による継続的な啓発活動の推進	最重点
● 被害者側に立った対応手順の整理	最重点
(2) 職員全員が主体的に参加するボトムアップ型病院運営の推進	最重点
● 院内会議の機能と参加者の見直し	最重点
● 各種委員会のあり方見直し	最重点
● 限られた資源の中でも機能する働き方への変革	
● 院内業務の効率化と負担軽減(タスクシフト・タスクシェア)の推進	
・ 診療放射線技師のCT・MR・RI検査における血管(静脈)確保・抜針の拡大	
・ 検査結果報告時間(TAT)短縮の推進	
・ 機器トラブルを含む停滞事項検証の推進	
(3) 健康管理体制の充実	
● 適切な労務管理の推進(時間外の上限規制、面接指導、休息時間の確保等)	
● メンタルケアの充実	

## 令和7年度岩手県立中央病院附属沼宮内地域診療センター事業運営方針

### 【基本理念】

私たちは、地域の皆様の健康を守るため心の通った満足度の高い医療の提供に努めます。

### 【基本方針】

- 1 私たちは、より良い医療を安全に提供できるよう努めます。
- 2 私たちは、プライバシーや人権を配慮いたします。
- 3 私たちは、地域診療所として他の医療機関や保健・福祉施設と連携し良質な医療の提供を受けられる診療所をめざします。
- 4 私たちは、不断の学習・研鑽に努め、科学的根拠に基づいた質の高い医療をめざします。

重点事項	展開方法
<b>I 良質な医療が提供できる環境の整備</b> 1 医療安全対策の推進  2 医療の質の向上  3 地域との協働による診療所運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療事故防止、院内感染予防対策の徹底</li> <li>・インシデントレポートの分析と対策の徹底</li> <li>・各種マニュアルの遵守</li> <li>・「職業倫理」及び「患者様の権利と責務」の遵守</li> <li>・インフォームド・コンセントの徹底</li> <li>・個人情報保護法の遵守</li> <li>・精度管理の徹底と評価、分析(臨床検査技術科・放射線技術科)</li> <li>・保健、医療、福祉の連携による公衆衛生活動等の推進</li> <li>・地域住民の生活習慣病予防対策への積極的参加</li> <li>・<b>乳幼児検診への積極的参加</b></li> </ul>
<b>II 診療体制の充実</b> 1 医師の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標榜診療科の継続と充実</li> <li>・県立中央病院との連携推進による特定外来診療等の継続と充実(小児科、脳神経外科、皮膚科、整形外科、糖尿病・内分泌内科応援)</li> <li>・町内の医療機関との連携強化</li> <li>・<b>(施設開放によるCT撮影対象患者の受け入れ)</b></li> </ul>
<b>III 効率的な医療提供体制の構築</b> 1 運営体制の効率化と適正化  2 費用の抑制  3 収益の確保  4 未収金対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域の一体的運営の円滑化・効率化の推進</li> <li>・新しい経営計画への取組み</li> <li>・薬品、診療材料等の整理統一及び在庫管理の徹底</li> <li>・<b>院外処方の推進による薬品費の縮減</b></li> <li>・超過勤務時間数の縮減</li> <li>・経営目標の設定と管理</li> <li>・診療報酬の適正算定</li> <li>・査定減対策と再審査請求の促進</li> <li>・県立中央病院との連携による定期的な未収金回収</li> <li>・関係部門連携による未収金の発生防止</li> </ul>
<b>IV 職員の資質と満足度の向上</b> 1 人づくり  2 働きやすい職場環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種研修会への職員派遣</li> <li>・各部門ごとの積極的な職場研修会の推進</li> <li>・働きやすい職場環境づくりへの取組み</li> <li>・計画的な年次休暇の取得促進</li> </ul>

## 令和7年度 紫波地域診療センター事業運営方針

### 【基本理念】

私たちは、患者さんのプライバシーを守り、患者さんに平等な医療の提供を行い、地域の皆様から信頼されるように努めます。

### 【基本方針】

1. 地域に密着した良質な医療サービスの提供を行います。
2. 安心して治療を受けられる環境を整備します。
3. 適切な医療情報の提供を行います。
4. 職員は信頼しあい、能力と個性を発揮し、「紫波地域診療センター」の発展と互いの向上に努めます。

重点項目	展開方向	担当部門
<b>I 地域の医療需要の動向を踏まえた県立病院の機能分化と連携強化</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 県立病院群の一体的・効率的な運営</li> <li>② 地域診療センターが担うべき役割と機能への対応</li> <li>③ 他の医療機関・介護施設等との役割分担と連携</li> <li>④ 地域との協働による病院運営</li> <li>⑤ 紫波地域診療センターの廃止に向けた患者の円滑な紹介及び業務の引継の実施</li> </ol>	全部門 全部門 全部門 全部門 全部門
<b>II 良質な医療を提供できる環境の整備</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療安全の推進</li> <li>② 感染対策の推進</li> <li>③ 患者満足度の向上</li> </ol>	全部門 全部門 全部門
<b>III 職員の確保、育成と魅力ある勤務環境の整備</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 圏域内及び他圏域への診療応援の実施</li> <li>② 各種学会・研修会への参加機会の提供</li> <li>③ 職場研修の推進</li> </ol>	医局 全部門 全部門
<b>IV 経営基盤の確保</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 収支の進捗管理</li> <li>② 業務の見直しと効率化</li> <li>③ 診療報酬の適正算定</li> <li>④ 査定防止への取組徹底と再審査請求の促進</li> <li>⑤ 予防接種や健康診断の積極的な受入れ</li> <li>⑥ 省エネ推進による電気、重油の適正使用</li> </ol>	事務局 全部門 事務局 事務局・医局 全部門 全部門

令和6年度岩手県立病院等事業会計決算概要

損益計算書前年度比較

(単位:千円、%)

年度 科目	令和6年度		令和5年度		比較増減		摘要
	金額 A	構成比 費用 医収	金額 B	構成比 費用 医収	金額 C=A-B	増減率 C/B	
1 医業収益	96,317,681	83.7	94,397,343	80.9	1,920,338	2.0	1年間患者数 (人)
(1)入院収益	60,704,991	52.8	58,713,650	50.3	1,991,341	3.4	区分 入院 外来
(2)外来収益	29,654,781	25.8	29,844,298	25.6	△ 189,517	△0.6	令和6年度 a 令和5年度 b 比較 a-b(c) 増減 c/b
小計	90,359,772	78.6	88,557,948	75.9	1,801,824	2.0	2.8% △1.8%
(3)その他医業収益	5,957,909	5.2	5,839,395	5.0	118,514	2.0	2-1日平均患者数 (人)
2 医業外収益	18,694,935	16.3	22,203,882	19.0	△ 3,508,947	△15.8	区分 入院 外来
3 特別利益	0	0.0	138,764	0.1	△ 138,764	△100.0	令和6年度 a 令和5年度 b 比較 a-b(c) 増減 c/b
収益合計	115,012,616	100.0	116,739,989	100.0	△ 1,727,373	△1.5	3患者一人一日当り平均収益 (円)
(うち一般会計繰入金)	(16,903,955)	(14.7)	(18,592,185)	(15.9)	(△ 1,688,230)	(△9.1)	区分 入院 外来
1 医業費用	115,880,447	94.7	113,497,321	94.4	2,383,126	2.1	令和6年度 a 令和5年度 b 比較 a-b(c) 増減 c/b
(1)給与費	63,967,206	52.3	62,060,472	51.6	1,906,734	3.1	2,994 2,905 89 3.1%
(2)材料費	26,838,161	21.9	26,625,235	22.1	212,926	0.8	△126 △1.8%
(3)経費	16,641,048	13.6	16,390,228	13.6	250,820	1.5	
(4)交際費	138	0.0	113	0.0	25	22.1	
(5)減価償却費	7,684,274	6.3	7,767,800	6.5	△ 83,526	△1.1	
(6)資産減耗費	317,872	0.3	202,279	0.2	115,593	57.1	
(7)研究研修費	431,748	0.4	451,194	0.4	△ 19,446	△4.3	
2 医業外費用	6,243,328	5.1	6,364,921	5.3	△ 121,593	△1.9	
(うち支払利息)	(886,488)	(0.7)	(1,004,157)	(0.8)	(1.1)	(△117.669)	(△11.7)
3 特別損失	188,920	0.2	414,861	0.3	△ 225,941	△54.5	4病床利用率(稼働病床) (%)
費用合計	122,312,695	100.0	120,277,103	100.0	2,035,592	1.7	区分 一般療養 結核 精神 合計
医業損益	△ 19,562,766	-	△ 19,099,978	-	△ 462,788	△2.4	令和6年度 a 令和5年度 b 比較増減 a-b
経常損益	△ 7,111,159	-	△ 3,261,017	-	△ 3,850,142	△118.1	5診療実日数 (日)
純損益	△ 7,300,079	-	△ 3,537,114	-	△ 3,762,965	△106.4	区分 入院 外来
年度末累積欠損金	50,121,982	-	42,821,903	-	-	-	令和6年度 a 令和5年度 b 比較増減 a-b
医業収支比率	83.1%	-	83.2%	-	△0.1%	-	365 243
経常収支比率	94.2%	-	97.3%	-	△3.1%	-	366 243
総収支比率	94.0%	-	97.1%	-	△3.1%	-	△1 0